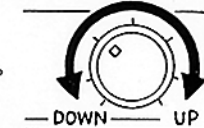
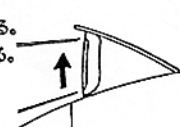
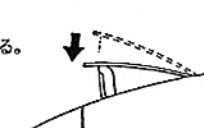


この度はPIVOT RHU-Mをお買い求めいただきましてありがとうございます。
お取り付けの前には必ず本説明書をよくお読み下さい。

尚、取り付けミス等によるクルマの故障には、当社は責任を負いませんのであらかじめご了承下さい。

操作方法 ※全閉状態に戻す場合は、ボリュームを0（左いっぱい）にし操作して下さい。

<p>① コントローラーの ボリュームを調整する。</p> 	<p>② クルマのライトを点灯させる。 カバーが全開になる。</p> 
<p>③ ライトを消灯させる。 カバーがハーフ状態になる。</p> 	<p>④ ①～③の操作を繰り返し、 お好みのハーフ開度にしませう。</p> <p>注、ボリュームの目もりは、目安であり、 実際の開度と異なる場合があります。</p>

操作時のご注意

- ①エンジン作動中と停止中とでは電圧変動によりライト点灯後の開度が多少変わる場合がありますので、出来るだけエンジン作動中にライト消灯しますと常に同じ開度にさせることができます。
- ②ハーフにした時、左右のライトの高さが多少違う場合は本機の不良ではなく、クルマ側に原因があります。合わせる場合はクルマ側の調整ツマミで行うか、あまりにも差が大きい場合はディーラーにご相談下さい。

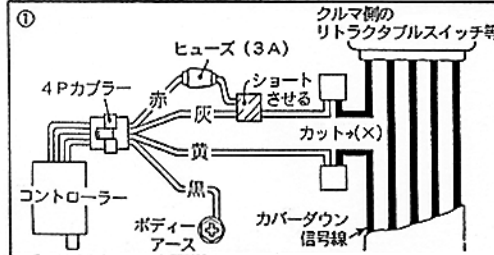
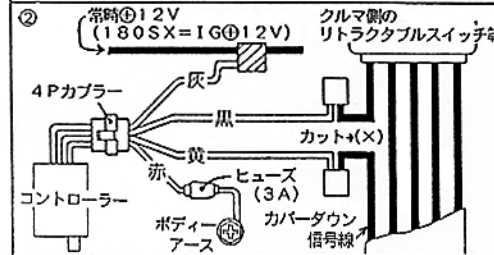
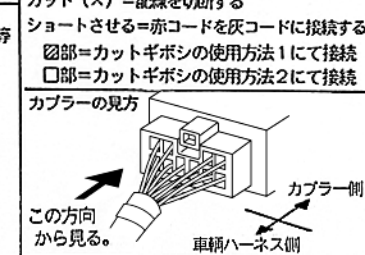
180SXでの操作時のご注意

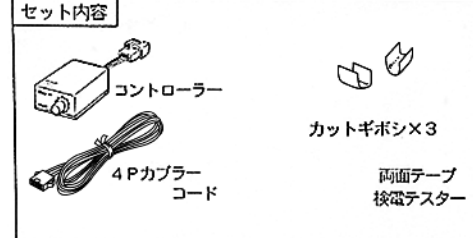
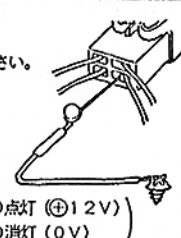
180SXは、半目状態でライトスイッチをスモールONにして、その後ライトを点灯させずにOFFにした場合、カバーダウン信号により、開度が変わってしまいます。
スモールON後は、1回ライトを点灯させてからOFFにすると、調整した開度を維持できます。

取り付け前のご注意

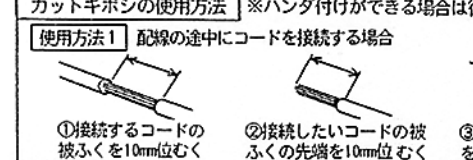
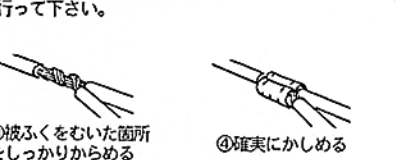
1. 配線場所のチェック時以外はショート防止の為、必ずバッテリーの○端子を外して作業して下さい。
2. 各接続は確実にを行い、接触不良とならぬ様ご注意下さい。（不確実な接続は正常作動しない原因となります。）
3. 接続部の絶縁は必ず確実に行って下さい。（ショートさせると本器やクルマの故障の原因となります。）

基本配線 詳しい取り付け配線は車種別取り付け方法をご覧ください。

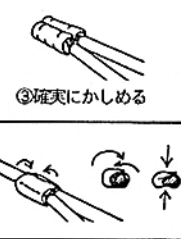
<p>①</p> 	<p>図中の解説</p> <p>常時①2V=キースイッチOFFの位置で ①2Vの流れる配線 IG①2V=キースイッチONの位置で ①2Vの流れる配線 ボディアース=鉄板部に取り付いている アースのとれるネジ カバーダウン信号線=クルマのリトラクタブル スイッチ等から出ている配線の一種 カット(X)=配線を切断する ショートさせる=赤コードを灰コードに接続する 図部=カットギボシの使用法1にて接続 口部=カットギボシの使用法2にて接続</p>
<p>②</p> 	<p>カプラーの見方</p>  <p>この方向から見る。 カプラー側 車種ハーネス側</p>

<p>セット内容</p>  <p>コントローラー 4Pカプラーコード カットギボシ×3 両面テープ 検電テスター</p>	<p>検電テスターの使い方</p> <p>※テスターがない場合に ご利用下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●針金の先端をチェックしたい箇所の金属部へ ●コード側の先端をボディアースへ <p>それぞれ確実にあてます。 (通電がある=LED点灯 (+12V) 通電がない=LED消灯 (0V))</p> 
--	---

カットギボシの使用方法 ※ハンダ付けができる場合は行って下さい。

<p>使用方法1 配線の途中にコードを接続する場合</p>  <p>①接続するコードの被ふくを10mm位むく ②接続したいコードの被ふくの先端を10mm位むく ③被ふくをむいた箇所をしっかりとからめる ④確実にかしめる</p>	<p>使用方法2 切断線どうしを接続する場合</p>  <p>①それぞれのコードの先端を10mm位むく ②むいたコードどうしをしっかりとからめる ③確実にかしめる</p>
---	---

※カットギボシのかしめには圧着工具をご使用下さい。工具がない場合はラジオペンチ等で折りたたむようにしっかりとして下さい。
※不確実なかしめは断線の原因となりますので、かした状態を今一度確かめの上、確実にビニールテープ等で絶縁をして下さい。



故障と思われる前に ※修理依頼なさる前に次の確認をして下さい。

症状	対策
ライトが全開のまま下らない。	コードの接続、あるいは接触不良です。接続場所やボディアースを取った場所等、配線をすべてチェックし直して下さい。又、赤コードの途中にあるヒューズが切れていないかを確認し、切れている場合は3Aのヒューズを入れて下さい。
ライトがハーフにならず全閉してしまふ。	リトラクタブルスイッチ等の切断する配線がまちがっている恐れがあります。車種別取り付け方法の2の文章及びカプラー図を再度参照の上、ご確認ください。

株式会社ピボット 〒390-0313 長野県松本市岡田下岡田87-3 TEL0263-46-5901(代)

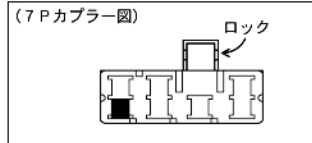
ロードスター1800 (NA8CE) 基本配線①

1、リトラクタースイッチカプラーの取り出し (図A)

- ①フロアコンソールのネジ5本 (前横2本、灰皿下1本、コンソールBOX内2本) を取って外します。
- ②センターコンソールのエアコン吹き出し口2コを引っ張り出して外し、外した内側のネジ2本とコンソール左下のネジ1本を取ってからセンターコンソールを手前に引っ張って外します。
- ③リトラクタースイッチのウラに差し込まれているカプラー (7P) を抜き取ります。

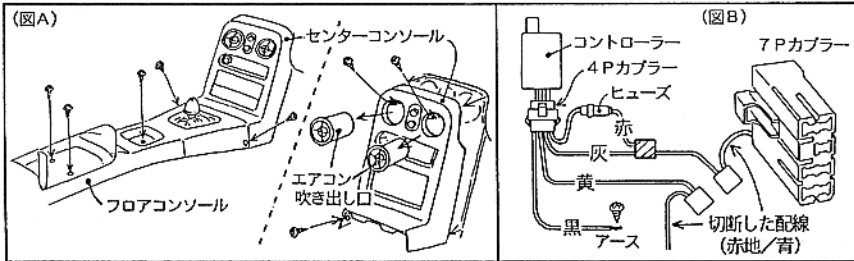
2、4Pカプラーコードの配線 (図B)

- ①4Pカプラーの灰・黄コードをセンターコンソールのウラから、リトラクタースイッチの近くへ引き出しておきます。
 - ②抜き取った7Pカプラーをリトラクタースイッチ側からロックを上に見て、下段左から1番目の赤地/青のコードをある程度の余裕を見て切断します。(右図参照)
- 注、カプラーはセンターコンソールからあまり引き出させませんので気を付けて作業して下さい。



※切断する配線は、リトラクタースイッチを操作してDOWN状態で検電テスターが点灯 (⊕12V)、UP状態で消灯 (0V) する配線です。

- ③切断したコードのカプラー側へ灰コードを、車輛ハーネス側へ黄コードを、それぞれカットギボシの使用法2にて接続します。
- ④赤コードを灰コードとショート状態となる様、カットギボシの使用法1にて接続します。
- ⑤黒コードを鉄板部へ取り付けネジ (ボディーアース) に共締めします。
- ⑥コントローラーの4Pカプラーとカプラーを接続します。



(図B注) ※各接続は確実に行ってください。 ※配線場所以外のコードは省略してあります。

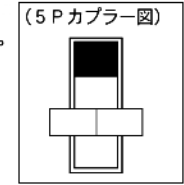
ロードスター1600 (NA6CE) 基本配線①

1、リトラクターリレーの見つけ方 (図A)

ボンネットを開け、前から見て右奥のカバーを外すとリトラクターリレーがあります。

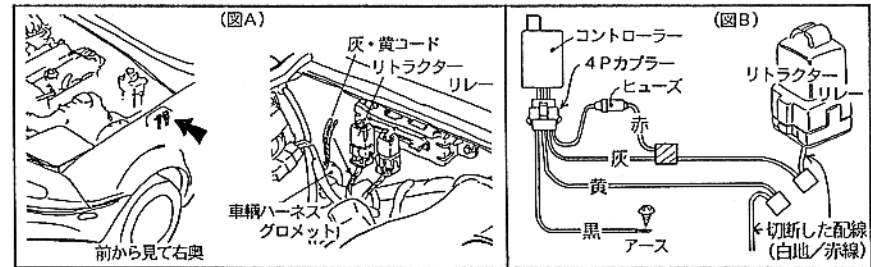
2、4Pカプラーコードの配線 (図B)

- ①4Pカプラーの灰・黄コードを室内よりリトラクターリレー近くにある車輛ハーネスグロメットを通してエンジンルームへ引き出します。(図A)
- ②リトラクターリレーの5Pカプラーの白地/赤線のコード (右5Pカプラー図の黒く塗りつぶされている位置のコード) をある程度の余裕を見て切断します。



※切断する配線は、ライトスイッチを操作して、DOWN状態で検電テスターが点灯 (⊕12V)、UP状態で消灯 (0V) する配線です。

- ③切断したコードのリトラクターリレー側へ灰コードを、車輛ハーネス側へ黄コードを、それぞれカットギボシの使用法2にて接続します。
- ④赤コードを灰コードとショート状態になる様、カットギボシの使用法1にて接続します。
- ⑤黒コードを鉄板部に取り付けネジ (ボディーアース) に共締めします。
- ⑥コントローラーの4Pカプラーとカプラーを接続します。



(図B注) ※各接続は確実に行ってください。 ※配線場所以外のコードは省略してあります。

RX-7 (FD3S) 基本配線①

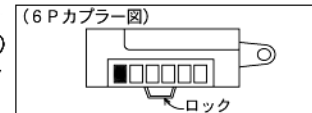
1、リトラクタースイッチカプラーの取り出し (図A)

※メーターアッセンブリにあるリトラクタースイッチのカプラーを取り出します。

- ①ダッシュボード横のエアダクトを外してから、アンダーカバーをネジ (横1本、下2本) を取って外します。
- ②コラムカバーをネジ3本を取って外します。
- ③メーターアッセンブリを下側ネジ2本を取って、手前に引っ張って外します。

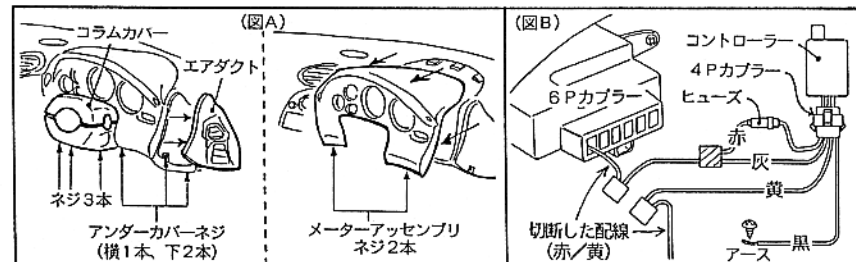
2、4Pカプラーコードの配線 (図B)

- ①リトラクタースイッチのウラに差し込まれているカプラー (6P) をハーネス側からロックを下に見て、左から1番目の赤/黄コードをある程度の余裕を見て切断します。(右図参照)



※切断する配線は、リトラクタースイッチを操作してDOWN状態で検電テスターが点灯 (⊕12V)、UP状態で消灯 (0V) する配線です。

- ②切断した配線のカプラー側へ灰コードを、車輛ハーネス側へ黄コードを、それぞれカットギボシの使用法2にて接続します。
- ③赤コードを灰コードとショート状態となる様、カットギボシの使用法1にて接続します。
- ④黒コードを鉄板部に取り付けネジ (ボディーアース) に共締めします。
- ⑤コントローラーの4Pカプラーとカプラーを接続します。



(図B注) ※各接続は確実に行ってください。 ※配線場所以外のコードは省略してあります。

RX-7 (FC3S)

基本配線①

1、リトラクタースイッチカプラーの取り出し (図A)

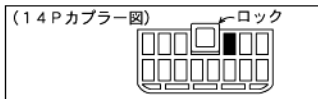
※スイッチパネルにあるリトラクタースイッチのカプラーを取り出します。

①運転席スイッチパネルをネジ (上3本、下2本) を取ってからステアリングを下げ、スイッチパネルを破壊させないように手前に引き出します。

②つながっているカプラーをすべて抜き取ってからスイッチパネルを取り外します。

2、4 Pカプラーコードの配線 (図B)

①リトラクタースイッチのウラから抜き取ったカプラー (14 P) をハーネス側からロックを上に見て、上段右から3番目の赤/黄コードをある程度の余裕を見て切断します。(右図参照)



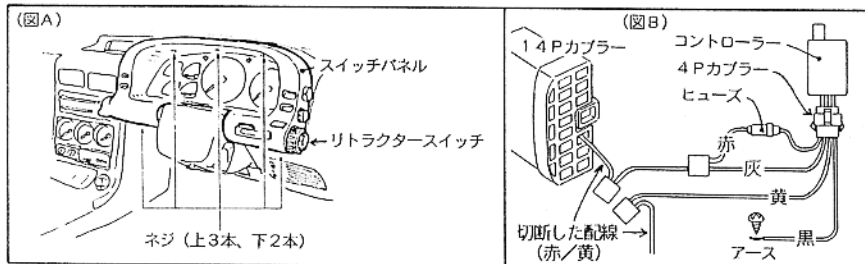
※切断する配線はリトラクタースイッチを操作してDOWN状態で検電テスターが点灯 (⊕12V)、UP状態で消灯 (0V) する配線です。

②4 Pカプラーの灰・黄コードをダッシュボードのウラから引き出し、切断した配線のカプラー側へ灰コードを、車輛ハーネス側へ黄コードを、それぞれカットギボシの使用方法2にて接続します。

③赤コードを灰コードとショート状態となる様、カットギボシの使用方法1にて接続します。

④黒コードを鉄板部に取り付くネジ (ボディーアース) に共締めします。

⑤コントローラーの4 Pカプラーとカプラーを接続します。



(図B注) ※各接続は確実に行って下さい。 ※配線場所以外のコードは省略してあります。

スーパ (70系)

基本配線②

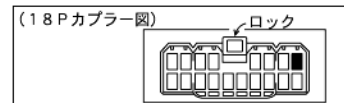
1、リトラクターコントロールの見つけ方 (図A)

①運転席側のアンダーカバーをネジ6本を取って外します。

②右足元のサイドカバーの上部に「RETRACTOR CONTROL」と書いてあるユニットがあります。

2、4 Pカプラーコードの配線 (図B)

①ユニットのカプラー (18 P) を、ハーネス側からロックを上に見て、上段右から1番目の配線がある程度の余裕を見て切断します。(右図参照)



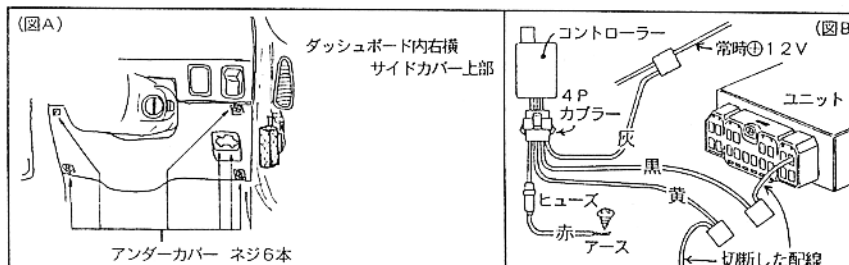
※切断する配線は、リトラクタースイッチを操作して全開状態からDOWNする動作中のみ検電テスターが消灯 (0V) になる配線です。[=全開、全開、全開からUPする動作中は検電テスターは点灯 (⊕12V) しています。]

②切断した配線のカプラー側へ黒コードを、車輛ハーネス側へ黄コードを、それぞれカットギボシの使用方法2にて接続します。

③灰コードをキースイッチOFFで⊕12Vの流れる配線 (常時⊕12V) にカットギボシの使用方法1にて接続します。(=キースイッチのウラの配線を検電テスターでチェックすると見つけられます。)

④赤コードを鉄板部へ取り付くネジ (ボディーアース) に共締めします。

⑤コントローラーの4 Pカプラーとカプラーを接続します。



(図B注) ※各接続は確実に行って下さい。 ※配線場所以外のコードは省略してあります。

MR-2 (SW20) セリカ (ST18系)

基本配線②

1、リトラクターコントロールの見つけ方

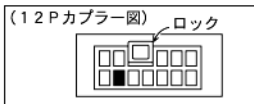
MR-2・・・前トランクを開け、左ヘッドライトのウラ側に「RETRACTOR CONTROL」と書いてあるユニットがあります。(図A)

※コントローラーの黒・黄コードを室内より前トランクへ引き出しておきます。

セリカ・・・運転席ダッシュボードのウラ側に「RETRACTOR CONTROL」と書いてあるユニットがあります。(図B)

2、4 Pカプラーコードの配線 (図C)

①ユニットのカプラー (12 P) をハーネス側からロックを上に見て、下段左から2番目の配線がある程度の余裕を見て切断します。(右図参照)



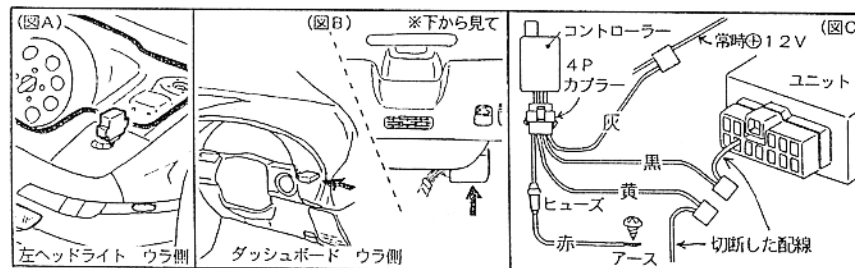
※切断する配線は、リトラクタースイッチを操作して全開状態からDOWNする動作中のみ検電テスターが消灯 (0V) する配線です。[=全開、全開、全開からUPする動作中は検電テスターは点灯 (⊕12V) しています。]

②切断した配線のカプラー側へ黒コードを、車輛ハーネス側へ黄コードを、それぞれカットギボシの使用方法2にて接続します。

③灰コードをキースイッチOFFで⊕12Vの流れる配線 (常時⊕12V) カットギボシの使用方法1にて接続します。(=キースイッチのウラの配線を検電テスターでチェックすると見つけられます。)

④赤コードを鉄板部へ取り付くネジ (ボディーアース) に共締めします。

⑤コントローラーの4 Pカプラーとカプラーを接続します。



(図C注) ※各接続は確実に行って下さい。 ※配線場所以外のコードは省略してあります。

GTO (Z16A)

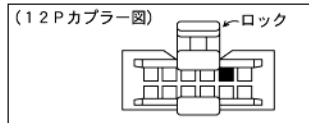
基本配線①

1、ETACSユニットの見つけ方 (図A) (図1)

※運転席のアンダーカバーの下から見て、ボンネットリッドのウラ側にETACSユニットがあります。
ETACSユニットは下側 (フットペダル側) に16Pカブラーが、上側 (メーター側) に12Pカブラーが差し込まれています。

2、4Pカブラーコードの配線 (図B)

①ユニットの12Pカブラーを抜き取りハーネス側からロックを上に見て、上段右から2番目の黒/赤のコードをある程度の余裕を見て切断します。(右図参照)



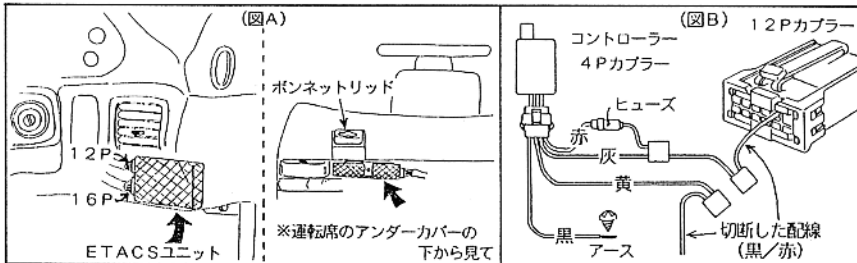
※切断する配線はリトラクタスイッチを操作してDOWN状態で検電テスターが点灯 (⊕12V)、UP状態で消灯 (0V) する配線です。

②切断した配線のカブラー側に灰コードを、車輻ハーネス側に黄コードを、それぞれカットギボシの使用法2にて接続します。

③赤コードを灰コードとショート状態となる様、カットギボシの使用法1にて接続します。

④黒コードを鉄板部に取り付くネジ (ボディーアース) に共締めします。

⑤コントローラーの4Pカブラーとカブラーを接続します。



(図B注) ※各接続は確実に行って下さい。 ※配線場所以外のコードは省略してあります。

トレノ (AE92)

基本配線②

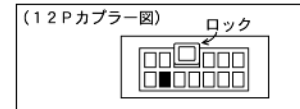
1、リトラクター・リレー・ユニットの見つけ方 (図A)

運転席のアンダーカバーをネジ6本を取って外すと、奥にリトラクター・リレー・ユニットがあります。

2、4Pカブラーコードの配線 (図B)

①ユニットのカブラー (12P) をハーネス側からロックを上に見て、下段左から2番目の配線はある程度の余裕を見て切断します。

(右図参照)



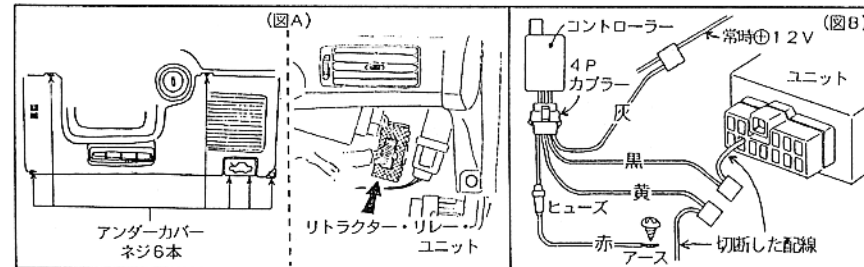
※切断する配線は、リトラクタスイッチを操作して全開状態からDOWNする動作中のみ検電テスターが消灯 (0V) する配線です。 [=全開、全開、全開からUPする動作中は検電テスターは点灯 (⊕12V) しています。]

②切断した配線のカブラー側へ黒コードを、車輻ハーネス側へ黄コードを、それぞれカットギボシの使用法2にて接続します。

③灰コードをキースイッチOFFで⊕12Vの流れる配線 (常時⊕12V) にカットギボシの使用法1にて接続します。(=キースイッチのウラの配線を検電テスターでチェックすると見つかります。)

④赤コードを鉄板部へ取り付くネジ (ボディーアース) に共締めします。

⑤コントローラーの4Pカブラーとカブラーを接続します。



(図B注) ※各接続は確実に行って下さい。 ※配線場所以外のコードは省略してあります。

180SX (RS / RPS13)

基本配線②

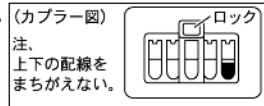
1、リトラクタブル・タイマーの取り出し (図A、B)

①助手席側ステップをネジ5本を取って外します。

②サイドカバーをネジ3本を取って外します。中にエンジンコンピューターがあります。

③エンジンコンピューターを止めているネジ2本を取って、作業しやすい場所へ寄せておきます。

④エンジンコンピューターが取り付いていた奥 (ボディーの中) にリトラクタブルタイマーのユニットがあります。ユニットを止めているネジ1本を取ってユニットを取り出します。



2、4Pカブラーコードの配線 (図C)

①ユニットのカブラーをハーネス側からロックを上に見て、下段右から1番目の配線はある程度の余裕を見て切断します。(右図参照)

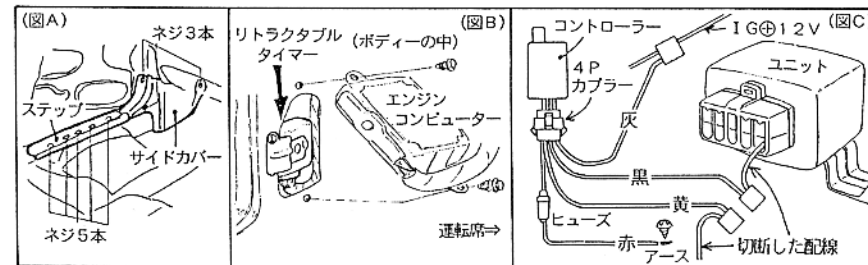
※切断する配線は、リトラクタスイッチを操作して全開状態からDOWNする動作中のみ検電テスターが消灯 (0V) する配線です。 [=全開、全開、全開からUPする動作中は検電テスターは点灯 (⊕12V) しています。]

②切断した配線のカブラー側へ黒コードを、車輻ハーネス側へ黄コードを、それぞれカットギボシの使用法2にて接続します。

③灰コードをキースイッチONで⊕12Vの流れる配線 (IG⊕12V) にカットギボシの使用法1にて接続します。(=キースイッチのウラの配線を検電テスターでチェックすると見つかります。)

④赤コードを鉄板部へ取り付くネジ (ボディーアース) に共締めします。

⑤コントローラーの4Pカブラーとカブラーを接続します。



(図C注) ※各接続は確実に行って下さい。 ※配線場所以外のコードは省略してあります。